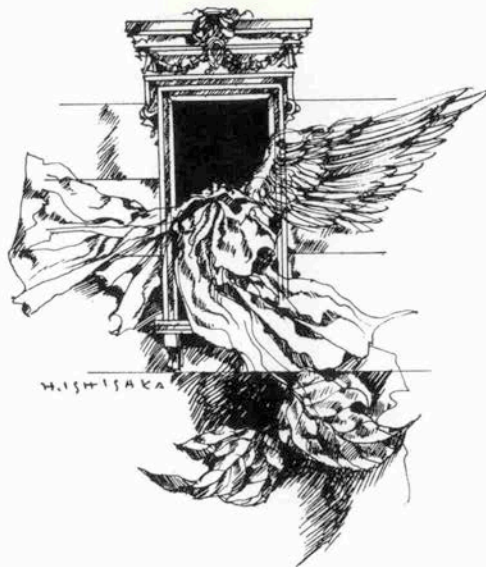


'80結婚特集(Ⅰ)詩とエッセイ
「なぜ結婚するの…。」



ふしぎ

安水稔和 〈詩人〉

ひとりの風が

ひとりの風と

ふとてあい

ふたりの風になるかな。

ひとりの鹿が

ひとりの鹿と

ふとみつめあい

ふたりの鹿になるかな。

ひとりの太郎が

ひとりの花子と

ふとだまりこみ

ふたりのひとになるかな。

なるかな。

なるかな。

なるかな。

なった。

*

さて

ここまでが

ふしぎ。

さて

これからが

ほんとうのふしぎ。

カット／石阪春生

△新制作協会会員▽

80 結婚特集Ⅱ 詩とエッセイ
「なぜ結婚するの…。」



ホメ合い結婚

田辺聖子〈作家〉

もし私が八十歳で、相棒が八十四歳になってい
るとしたら——（ウチは四つちがいなんです）そ
れはもう、大きな声で胸を張って、結婚とはこう
いうもの、といえるのであるが、まだそこまでい
ってないので、ただいまは、「運転中話しかけな
いで下さい」というところである。自信がない。

結婚生活って、ホント、綱渡りだと思う。

特に私は仕事をもっているし、向うも持ってい
るし、（ただし、いまは療養中で、開店休業であ
るが）私の仕事は何時から何時までということな
く、忙がしいときはむちゃくちゃに髪ふりみだし

てやっているの、ふつうの結婚生活と同じにい
かない。今日は二人とも仲よくやっているが、あ
るいは明日はどうなっているか、神のみぞ知る、
というところがある。子供もないから、二人が
別れるとなると、それを繋ぐ絆は何もないわけ
である。

それにどっちも剛情っぽいだろうから、いき
がかりで別れてしまうことがある——かもしれな
い。

まあ、そう思い思い、十五、六年やってきたの
で、それを考えると、やっぱり相性がいいのかな。

これをいいたくて、ここまでしゃべったのではないんですが。

それともひとつ、相棒は再婚だけど、どっちかが、あるいは両方が再婚の場合、これはかなりうまくいくんじゃないか、と私は思っている。最初とはともかく、二度目となると、人生キャリアも積み、自分の好みも出て、自我や自由意志で相手を選べる人が多い。離婚は女の勲章、といわれたのはもう昔のことで、生別死別の男や女は、これからの人生にこそ幸福のチャンスがあると考えて頂きたい。それからしても、恋愛は若いときにたくさんしたらいいけれど、結婚は晩婚をすすめたくなるのである。

それから私の場合は、なけなしの才能をはたいて、苦しい仕事をしているので、結婚は全く、気の安まる、心のよりどころでなくては困る。仕事の上に相棒に気を使っていたのでは死んでしまう。そうはいっても、私たちの世代は昔風のしつけや男性観を受けているから、なかなか、相棒の動静を無視してこっちの仕事に没頭し、こっちの都合を優先させることはできないけれど。そのかわり、ヤツの顔色をうかがったり、イロイロ気を使って仕事をセーブするから、かえってそれで私の健康が保たれる、ということも、あるかもしれない。

結婚の相棒というのは、気楽な存在であるのがいい。

気楽というのは、沈黙の責任をとらなくてもよいことである。

しゃべりたいときはしゃべれるし、黙っていたいときは黙っていられる、それで圧迫感もなにもない男がいい。

仕事の苦勞はお互いにいってもしょうがないし、きいてもどうにもできないし、してあげられないが、一緒に暮らしていれば、ムーとしているのはお互いに分るものである。そういうときは、私なんかだと、やっぱり相棒に、

「あんたは天才」

といってもらいたいな。「あんたは大将」という歌があったけど、ウソと知りつつ、相棒は

「あんたは天才」といつてくれるので、私も「あんたは名医」というわけである。

結婚にはいろんな型があり、それぞれの性格や好みがあるから、千差万別だけれど、これから結婚しよう、という方々には、私は、相性というのは、やっぱりどうしようもなくあるものだ、といってあげたい。条件がいいから、と、それだけに気をひかれるのは危険である。

そうして、この広い世間に、最後までかばい合える戦友は、やっぱり夫と妻なのだから、どちらかが傷ついたとき、「あんたは天才」「あんたは美人」とホメたり力づけたりできる相手であるのが望ましい。

80 結婚特集(Ⅲ) 詩とエッセイ
「なぜ結婚するの…」



ああ結婚

楠本憲吉 (俳人)

男と女とが結婚したときには、かれらの小説は終りを告げ、かれらの歴史が始まる。

ロシエビュルス

新日本憲法では、その第二十四条に、「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立」と規定され、一九四八年、第三回国連総会で採択された「人権に関する世界宣言」では、その第十六条第二項に、「婚姻は、夫婦となろうとする者の自由でかつ完全な同意のみによって成立する」とある。

昭和二十二年の「民法改正」では、旧法の「戸主」「家族」という規定が削られ、結婚の場合、夫婦は夫または妻のいずれの「姓」を使用してもいいことになり、明治三十一年につくられた「民

法」の家父長権——三十歳未満の男子と二十五歳未満の女子が結婚するには父母の同意を必要とする——や、妻のみに適用される姦通罪は排除され、封建的な家族制度から完全に区別された結婚制度または夫婦制度が確立されたわけである。

たとえば実家ということばは、婚家に定着できぬ妻の座の不安定度を示すものであったが、現在は、「僕、実家へ帰らせてもらいます」という男性がふえたそうで、「嫁入り」から「ムコ入り」的要素が至極濃厚になってきたことを物語り、つくづく世の中も変わったもんだと思う。

大化の改新に始まった律令の法定婚姻令は男が十五歳、女が十三歳、祖父母や父母などの婚主の許可のない結婚は姦通罪として処罰され、重婚も

禁止、中国の儒教思想をもとにしたきびしい家父長的家族制度をもとにしたものであった。当然男尊女卑の思想で貫かれ、妻は離婚を要求できず、一方的に夫から離婚されるようになっており、律令制こそ女性にとってまことにシビアーな桎梏であったのだ。平安時代に入ると一夫多妻制が原則で、令制による天皇の「正式さん」は、正妻としての皇后のほか妃（中宮）二人、夫人（女御）三人、嬪（更衣）四人、めめて定員九人であった。一夫一婦制の戒律を教え、夫婦の離婚の罪を説いたのはキリスト教渡来後で、女性にとってまさに神武以来の福音であったわけだが、江戸幕府のキリシタン弾圧によってこの天来の福音も一場の夢と消え、さきに書いた明治新民法が制定されるまで、一夫一妻のかげに涙をのまされたわけである。

昭和三十一年の五月、売春禁止法が成立、翌三十二年四月発効となり、日本全国から赤線地帯の灯が消え、ここに文字通り「線後派」が誕生したわけである。

戦後日本におけるアダムとイブは、満二十歳になりさえすれば、父母の同意なしに自由に結婚ができ、当事者間に婚姻の意志が無くなれば合意のうでで離婚でき、「マイホーム、マイオカアちゃんマイババヌキ」の生活が天下晴れて実行できるようになったのだが、カントの思索したような真の一夫一婦制、純粋な愛情で結ばれ、夫婦互いに自由で平等な、真実輝かしい結婚黄金時代となったかどうか——それは昨今のブームの一つに数えられる身の上相談を見ればわかることであろう。

嫁さんを買えば即「亭主」である。亭主は『首楞嚴經』という仏典中のことばで「亭をつかさど

る人」が「亭主」である。さすれば、女房を「房（部屋）」をつかさどる女ということになる。

シンガーソングライターのさだまさしの「関白宣言」は一九七九年のヒットソングになったが、「俺より早く寝るな」「亭主の浮気は覚悟しろ」といっておきながら、最後は「やっぱりお前を愛している」という本音を吐き、これがヒットの原因となったという何とも情けない歌である。

「亭主の好きな赤烏帽子」というのは、室町のころ「数奇の赤烏帽子」といえば「物好きのサンブル」とされていたもので、主人好みのものであればたとえ赤烏帽子であろうと同調しなくてはならないという意味であろう。「似たもの夫婦」ということばもこのあたりから出てくるものである。

ところで「結婚」という字は、昏くらくなってから女と結ばれるという語源を持つ字だそうだ。

石川達三は、

「結婚の最大のよろこびは、新婚のたのしさではなくて、新婚時代が終ったところから始まる人生創造の努力と、その実施とにある。倦怠期というのは、創造的意欲をもたない夫婦にあたえられる、処罰みたいなものだ」という。

ではひとはなぜ結婚するのか。いわく種族本能、同棲本能、性本能といろいろ高説があるようだがただ慢然と社会的慣習、その順応への一結果が一番多いのではあるまいか。とすれば独身という「自由」の犠牲はあまりにも大きいし、一人の男・女を選んだために、それ以外の絶対多数をあきらめねばならぬという代償はあまりにも高価過ぎはしないだろうか。

80 結婚特集〈Ⅳ〉詩とエッセイ 「なぜ結婚するの…」



結婚サンカ

田口寛治 〈神戸大学教授〉

「神戸っ子」から「ケッコンサンカ」の原稿を書けという電話依頼を受けました。私には、しばし、その意味がわかりませんでした。「ケッコン」は「結婚」だろうと思いましたが、「サンカ」は、「惨禍？参加？酸化？」。「ああそうか、讃歌か」と気がついたものの、「さて何を書いたらいいか」「とても私には書けそうもない」というのが実感でした。私のためらいに對して、電話の相手は「必ずしも讃える文章でなくてよい」という。

それでも、なるべくご期待にそおうと思って、数日考えつづけましたが、適当な内容が浮びませ

ん。せっぱつまって、手もとにある内外の「名言名句集」を開いてみました。大発見をしました。

「結婚」という章にも、名言名句がたくさん並んでいましたが、「讃歌」とおぼしきものは一つもないのです。「結婚は恋愛の墓場」というようなよく知られたものをはじめ、「多くの結婚生活はダンテの神曲と逆である。天国に始まって煉獄に移り、地獄に終わる」「結婚をしようと望むものは、後悔の道へと進む」「男は退屈から結婚する。女は物好きから結婚する。そして両方とも失望する」。さらには、もしこの文章が、結婚式を目前

にして胸をおどらせている若い人たちの目にふれると、あまりに惨酷だと思われるので、ここに紹介することをはばかりたくなるようなものまであります。

私は、かねがね、結婚式に招待されて、かわいい花嫁さんを見ると、「これから苦勞するだろうに、かわいそうに」とは思っても、なかなか素直に「おめでとう」という気持ちになれませんでした。そこには、花婿さんへの「しっと」もまじっているのではないかと、私の心事のいやしさを恥じたこともあります。また私以外の列席者は、本当に、あの祝辞どおりに、「おめでとう」と思っているのだろうかと思ったこともありました。そんな私の気持ちをズバリ表現した「名句」もあります。「男たちは、花嫁に会うと、彼女の顔を見るが、女たちは彼女の晴着を見る」。私だけが異常ではないことを知りました。

もう一つ発見しました。それは、参考までに「名言名句集」の「恋愛」と「家庭」の章を見てみると、語調が一変することです。讃歌が断然ふえてきます。「恋愛」については、「恋愛は至上なり」「恋とは、われわれの魂のもっとも純粹な部分が未知のものに向かっていく聖なるあこがれである」「恋愛は、生物が性を通して天的なものに達せんとする生命の営みである」。家庭については、「炉辺のまどいより愉しいところはない」

「王様であろうと、百姓であろうと、自己の家庭で平和を見出す者が、いちばん幸福な人間である」という調子です。親であることの喜び、母親の崇高さに対する賛美などは、とても枚挙できないほど、たくさんあります。

考えてみれば、「名言名句集」も、ずいぶん無責任といえば無責任ですね。その言葉どおりに受けとると、恋愛はこの世で一番すばらしいものだが、結婚すると絶望しますよ。結婚はしないほうがいいが、家庭はもちなさい。家庭こそ、この世の至福ですよ、ということになりそうです。いったい、どうしろというのだ、といたくなりそうです。

だが、そういう読み方は、やはりツムジまがりなのだと思います。一見、矛盾しているようにみえる名言名句は、どれも人生の本質をついているのだと思います。至福の家庭があるとすれば、それは「恋愛の墓場」の上に建てられるものなのでしょう。恋愛の墓場は、「恋愛」の墓場であつても、そこから何か新しいものが、不死鳥のように、誕生する場なのだと思います。墓場がなければ、新しいものの誕生もないということなのでしょう。

さて、この文章は、結婚サンカになったのでしょうか。

私達の



結婚アルバム

♡質問 ①「結婚は何年何月何日ですか？」 ②式の形式は？（eg、神前、仏前、人前）また、どういう理由で？ ③式披露宴でのエピソードなどを。



緊張した面持ちの陳夫妻

♡陳 瑞東
芝蘭

△東京大学付属病院産婦人科助手▽

①昭和55年5月3日。

②神前結婚でした（父が決めた）。

③結婚指輪を夫の右手薬指に入れました。

♡服部 玲介
みさ子

△住友海上火災保険株式会社勤務▽



服部家では2月と5月相続いて結婚が…

①昭和55年2月10日。
②キリスト教式結婚。両親が婚約した時、二人で洗礼を受けたというのを聞いていました。そのまねをしたわけではないのですが、偶然、僕達も同じ手続きをふんでクリスチャンになりましたので、神戸聖ミカエル教会で結婚式を挙げました。

③披露宴たけなわの頃です。二度目のお色直しに出て行っただけで、待てどくらせどなかなか花嫁が戻ってきません。

司会をしてくれた親友が、臨機応変に宴席の間をマイクを持ってまわりました。

三カ月前に結婚を控えた妹のところへ行って「彼はどんなお兄さんでしたか？」妹いわく「弟のような兄でした」。一つ年下の弟にも同じ質問をしました。彼いわく「息子のような兄でした」

司会者いわく「大変複雑なご家庭のようでした——」

皆はどっと笑いました。

僕は大声で叫びたくなりませんでした。

「やさしくしてればつけあがりやがって——おれの立場はいいたいどうなるんだ!!」と。

♡立野 博久

まどか

△浅井産業株式会社勤務▽

①昭和55年5月11日。

②神前結婚（特に信仰が篤かったわけではなく、ただ、ホテルのベルトコンベアに乗っただけです）。③別にこれといったエピソードはなかったのですが、これから挙式される方に悪知恵を――

ふつう、式場での写真撮影は絶対いけない、ということになっていきます。

でも私達は直前に神主さんを、文字通り袖の下で「買収(?)」して、三々九度や指輪交換などの決定的瞬間をバッチリと写すことができました(何の沙汰も金次第というべきでしょうか?)。



前頁、服部玲子氏の妹、まどかさんの晴れ姿です

♡大村 邦年

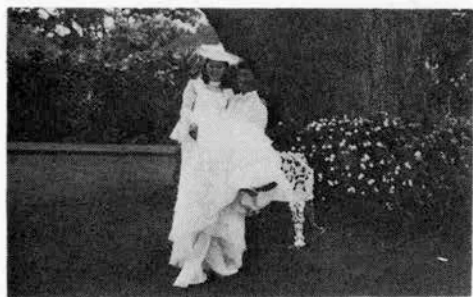
恵美子

△臨海建設株式会社勤務▽

①昭和55年4月29日。

②ハワイの教会で式を挙げました以前からの願望でした。

③式へは二人で行き、現地の人に祝福していただきました。花々に囲まれた素敵な教会での結婚式でした。写真は式を終えてホッとひと息というところで。ハネムーンを兼ねてのすばらしい結婚式でした。披露宴は後日日本で行いました。子供からお年寄りまで大勢のため立食パーティーで、ステージを設け、ジャズ・シンガーを招いての三時間は、あつという間でした。4月29日の式、5月3日の披露宴と忘れられない記念日です



“Holiday in HAWAII”—大村夫妻

♡竹 原 茂樹

恵子

△株式会社三神通商勤務▽

①54年11月27日

②香港で珍しい「密教」の式を挙げました(香港はクリスチャンじゃないと教会での式がむずかしいのです)。

③そもそもは友人の結婚式に付き添うためフィリピンに行くはずでしたが「それなら私たちも」ということで香港に立ち寄り、新郎(香港大学出身なので)の恩師の手で(その方は密教の高僧でした)挙式。だから、そのあとのフィリピン旅行は新婚旅行兼というわけです。アツアツのカップルがアツアツの結婚式に出席したのであります。



まるで映画のシーン—竹原夫妻

♡高石 義博

佐世子

△カネボウ勤務△

①昭和55年3月28日です。

②ホテル内での神前結婚。

③お式はあわただしくて、かつらがチョッピリきついのも忘れてしまふほどでした。私達二人の出入りが多かったのと、たいくつしない楽しい披露宴だったので、あっという間に終わってしまいました。四時間近かったそうですが……。

式が終わった後で、お互いにどこがよくて結婚したのと話しあったとき、私は彼に「面白いじゃなかったのよ。顔や形じゃなくて人柄が好きだったから……」といったら、彼も「ぼくも面白いじゃなかったよ」といいました。

でも結局、私は辰之助さんに似てるステキな彼を旦那さまにしたのです……。



“絵になる二人”の高石夫妻

♡岡嶋 豊

真知

△弁護士△

①昭和55年5月10日。

②神前です。白無垢姿が自然だと思っただけです。

③最後の花束贈呈で、それぞれ相手のお父さんの胸に花をつけるのに新郎が間違ひして自分の親につけるように花嫁に指示した。



お人形のようにカワイイ花嫁さんです

♡森 本 直 樹

有美子

△西宮酒造株式会社勤務△

①昭和55年2月16日。

②神前結婚。子供の頃から白無垢が着たかったので。

③新婦の父が蘭栽培を趣味としていたため、海外（ハワイ、シンガポール）から、カトレアやシンビジウム等各種の洋蘭を取り寄せ、会場には蘭の甘い香りが満ちあふれました。

♡門 前 喜 康

寛子

△サンテレビ制作部勤務△

①昭和55年6月15日。

②聖マリア・マグダレン教会。小生がクリスチャンなので。

③指輪交換の時、彼女と小生のリングを間違えて牧師をハラハラさせたり、教会退場の時、花をまきながら歩いてくれるハズの先輩の子供さん達が、花をまくのに専念して一歩も歩いてくれなかったり……そんな一つ一つが、苦笑しながら見守ってくれた人達の温かさと共に、心に焼きついています。



祝福に包まれて教会を出る門前夫妻



甘い蘭の香りの中で—森本夫妻

♡王 泰康

恵文

△神戸元町別館牡丹園勤務▽

①昭和55年7月17日。

②証婚人（日本でいえば神主さん）の前で、新郎・新娘、両親、双方の紹介人（仲人さんのようなもの）が署名し、結婚証書をつくりました。中国の風習で、親戚一同から独身最後のプレゼントとして赤い紙に包んだ利是（お祝い）をミカンをそえて頂きました。ミカンは中国では「古」と同音なのです。

③中国式の結婚式というのは、とにかく賑やかで盛大にやります。一人でも多くの人と喜びを分か合いたい気持ちからです。僕たちの場合も、在神華僑の方はほとんど来ていただき総勢八百名。全テーブルを回って敬酒、敬茶、敬煙をするのが本式ですが、キャンドルサービスに代えました。横浜の校友会の方の獅子舞が素晴しかった。

♡高 森 宏之

理恵子

△東亜貿易株式会社勤務▽

①今年の4月26日。

②キリスト教式。彼女が松蔭出身で、私もYMCAで活動していたことがあるため。

③ラジオ関西の三浦祐朗さんに司会してもらい、嫁さんは皆から品行方正、成績優秀と賞められましたが、私の方は下工作の甲斐もなく徹底してこきおろされました。



厳肅なる緊張の一瞬です

♡高 嶋 順 滋

京 子

△日本リクルートセンター勤務▽

55年5月18日、神前で（式場が神社だった）。披露宴では、古傷に触れる話に酒や料理がのどを通らず、学生時代の貧乏暮らしに花が咲き、心中穏かならず、喜びの花が羞恥の真っ赤な花に変わりました。その後も、トイレが近くなり、我慢のため青い花も咲き、わけのわからぬ花に囲まれた一生の

思い出を胸にアメリカへと発った次第です。



シアワセいっぱいの高嶋夫妻

♡山 野 城 二

初 美

△株式会社サンアングル勤務▽

①今年の6月8日。

②YMCAのチャペル（純白のウエディングを着たいという初美の希望で）。

③式の直前まで慌しく、発送した招待状をあとから読み直すと「ウエディング・ビル」となっていて皆にさんざんからかわれました。

意気ひつたりの隣ひらき—山野夫妻



佳人吉日

'80結婚特集 • きみ微笑めば...

When you're smiling



<モデル>

陳	愛 珠・鮑	悦凱
吉田	ひろ子・新井	宗平
榎山	優 子・東坂	慎一
芹澤	奈穂子・武田	真澄
島添	有 子・三浦	三枝

<カメラ>

	山口 清	
米田	定蔵	橋本 英男

<メイク、ヘアー>

香川 たけし

参考資料 / 「アメリカンポピュラー」
誠文堂新光社刊



いつも微笑んでいて

くださいね。

あなたが微笑めば

世界も微笑むのです。

.. 宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

8月4日～13日夏休みをいたします。

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽にご相談下さい。定休日は水曜日です。



香 華

コーヒー香るにしむらの部屋

You're the top

あなたが一番。あなたはコロシウム。あなたが一番、あなたはルーブル博物館。あなたはシュトラウスのシンフォニーのメロディー。あなたはスペインの夜の紫色のあかり。あなたはシェイクスピアの詩。あなたはミッキー・マウス。あなたはナイル河。あなたの微笑みはモナリザ。あなたはさわやかな朝の珈琲。



宮水COFFEEの

にしむら 珈琲店

中山手本店〈中山手1丁目〉	221-1872	8:30AM - 11:00PM
北野店〈会員制・山本通2の9〉	242-2467	10:00AM - 11:00PM
三宮店〈国鉄三宮駅山側グリーンシャポービル1F〉	241-2777	8:00AM - 11:00PM
センター街店〈三宮センター街〉	391-0669	10:00AM - 10:00PM
芦屋店〈阪神芦屋駅浜側〉	0797-31-0580	8:00AM - 10:00PM
石屋川店〈阪神石屋川駅浜側〉	841-0763	8:00AM - 10:00PM





Beautiful dreamer

夢みる佳人

お嫁に行くあなたに贈ります。手づくりの神戸家具を。

欧風家具・婚礼調度 設計・創作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町・大丸前 TEL 078(391)3737

東京都・東急百貨店 日本橋店内6階 TEL 03(211)0511 本店(渋谷)7階 TEL 03(477)3180 工場 神戸木工センター TEL 078(784)5913



My favourite things
 わたしのお気に入り
 この窓辺で見るあなた。

レストラン ナイトクラブ

北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64

☎ (078) 222-5123

いれん づらん づらん

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル 7F

☎ (078) 321-1455

MENU 8,000円

Terrine de Jardin au Coulis de Tomate

野菜のテリーヌとトマトソース

Paris Soir スープ(パリの黄昏)

Gratine de Fruits de Mer

海の幸のグラタン

Sorbet Champagne Rosé

ローズ色のシャンパンのシャーベット

Filet de Boeuf à la Monégasque

神戸肉ハレスステーキモナコ風

Salade Vertes グリーンサラダ

Timbale Elysée エリーゼ宮のお菓子

Petits Fours 小菓子

Café コーヒー

♥ ご結婚一周年記念にはカップルで
 お食事にご招待いたします。